

2017 秋山山行報告

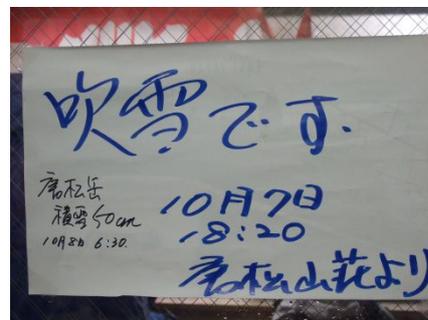
2017.10.5 三浦(L)

今年の夏は異常気象だった。予定の夏山山行（北穂高岳～奥穂高岳）も延期のあげく中止となった。秋山山行こそと期待していた。当初は10/7～9の3連休を予定していたが混雑と紅葉のタイミングを考慮して9/29～10/1に変更した。これが大正解でした3日間秋晴れの好天気にも恵まれた。ただ、9/29の八方池散策と9/30八方～唐松岳～五竜山荘までは西風が強く吹きかなり寒く指先が冷たかった。10/1五竜岳登頂から遠見尾根の下山ルートは風もなく穏やかな登山日和だった。このルート全般に黄葉・紅葉はほぼいいタイミングだった。しかし、このルートはエスケープルートがなく、もし途中で天候の急変や体力、体調に異常が生じた場合を考えるとリーダーとしては不安はあったが、まず自分自身を含め大過なく計画終了できたことに感謝。

当会ではこのコースの計画が完全実施できたのは3度目の正直である。2006年10月8日は、八方池山荘で翌朝に右の写真のような表示があり、急遽上高地から焼岳へと変更した。当時のメンバーで現在在籍しているのは河野相談役と私だけだ。

その次は、2012年5月4日である。雪の多い年であった。五竜岳は下の写真の様でとても登れる状況ではなく諦めて下山した。向かいの白馬岳では6人のパーティが全員低体温症で死亡した日でもあった。この遭難は軽装が要因のひとつだった。

蛇足だがちょうど同じ日に大学の山岳部にいた孫が白馬岳に登って無事下山している。



今回は、29日朝立ちの電車組4名と仕事の都合で夜立ちのマイカー組3名とに分かれ、五竜山荘で合流することになっていたが唐松岳頂上山荘で12時ごろに追い付かれた。予想はしていたが、やはり若者？には勝てない。歳の所為にはしたくないのだがこれが現実だ。

このコースの一番のポイントは唐松岳頂上山荘からのでだしにある「牛首」の岩場の通過である。全員難なく通過した。このルートは、岩場の歩き方のいろんな体験ができ変化に富む硬軟併せ持った面白いコースであり、何しろ360度の眺望、白馬三山をはじめなんといっても見るからに恐怖感を覚えさせる不帰ノ嶮の岩峰の大迫力である。さらに鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳など後立山連峰の数々の山の眺望と常緑樹の緑と紅葉・黄葉のモザイク模様が疲れを癒してくれた。

初体験の方達にとっては、北アルプス後立山連峰の一部を歩きその魅力を十分満喫していただけたことと自負している。なお、今回の成功は天候に恵まれたことに尽きる。これを機に自らの計画で新たな魅力を求める山歩きに挑戦していただきたい。

ありがとうございました。

了

このコース最良の眺望



写真集は下記閲覧ください。

- ① 2017.9.29(金) 第一日 八方池山荘(泊)～八方池散策
<https://www.youtube.com/watch?v=spTRySj7Ctl&feature=youtu.be>
- ② 2017.9.30(土) 第二日 八方池山荘～唐松岳(2696m)～五竜山荘(泊)
<https://www.youtube.com/watch?v=nIUdaeZTN5I>
- ③ 2017.10.1(日) 第三日 五竜岳(2814m)～遠見尾根～アルプス平
<https://www.youtube.com/watch?v=UtpHqQmdaXk&feature=youtu.be>